

EP8000 POWER7 770(9117-MMD)/780(9179-MHD) ファームウェア変更内容と来歴

	変更内容
AM780_100_100	<p>Impact: Availability / Security Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投機的実行機能持つ CPU の脆弱性(CVE-2018-3639)をつく攻撃に対するセキュリティ対策を追加しました。</li> <li>投機的実行機能やアウトオブオーダー実行機能を持つ CPU の脆弱性をつく攻撃に対するセキュリティ対策を追加しました。</li> <li>HWMC とサービスプロセッサ間のネットワークに一時的な問題が発生した時に、サービスプロセッサでコアダンプが採取されてエラー発生(SRC B181EF88)する不具合を修正しました。</li> <li>VIOS環境でファブリック障害がある Fibre チャネルに接続されたディスクからブートした時に、適切なエラーログを出力せずにブートに失敗する不具合を修正しました。</li> <li>サーバ起動処理中のクロックテストにおいてクロック障害が発生した場合、冗長クロックへの切り替えができず、起動に失敗する問題を修正しました。この問題が発生した場合、エラー(SRC B181E6C7)が記録されます。再起動により回復可能です。</li> <li>"uncapped"に設定された LPAR の稼働中、プロセッサがプロセッサ・プールに移動したとき、システムがハングアップする不具合を修正しました。</li> <li>ライブパーティションモビリティを設定している場合に、移行に失敗する不具合を修正しました。</li> <li>ライブパーティションモビリティで使用する UUID に関する機能の追加と不具合を修正しました。</li> <li>装置起動時に、PCI アダプタが動作不可となる問題を修正しました。装置の再起動により回復可能です。</li> <li>Active Memory Sharing(LPAR 間で使用するメモリを共有する機能)を設定した装置で、ダンプ採取に失敗する場合がある不具合を修正しました。</li> <li>専用プロセッサ・パーティションに設定している場合、LPAR が間欠的に無応答になる不具合を対策しました。</li> <li>共用プロセッサ・パーティションを使用するシステムにおいて、仮想プロセッサの割当てが遅延し性能低下を引き起こす可能性がある不具合を修正しました。新たな共用プロセッサ・パーティションを作成しておくことで、この問題を回避できます。</li> <li>サービスプロセッサと HWMC 間を DHCP でネットワーク接続する時、エラー(SRC B1818A0F)を誤検出する不具合を修正しました。</li> <li>HWMC とサービスプロセッサ間のネットワークに障害が発生した後、装置に 2 台目の HWMC を認識させることができない不具合を修正しました。AC 給電の OFF/ON により回復可能です。</li> <li>サービスプロセッサで検出された一部のエラーログが、OS に報告されない不具合を修正しました。</li> <li>複数 CPU ドロウ構成のシステムでエラー(B150B10C、B121C770)を誤検出して起動に失敗する不具合を修正しました。再起動により回復可能です。</li> <li>サーバの起動に失敗する不具合を修正しました。(SRC B7005301) この不具合は前回の停止時に、サービスプロセッサ内のパーティション・プロファイル情報が不正になることが原因でした。HWMC からのリカバリ処理により回復可能です。</li> </ul>
AM760_089_034	<p>Impact: Availability / Security Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミラーリングしているメモリのデフラグメンテーションの間に行われる可能性のあるメモリの再配置が、パーティションのリポート中に、エラーコード B700F103 を記録して失敗する問題を修正しました。</li> <li>hibernate 機能により休止させたパーティションを、休止させたシステムとは別のシステムからリモートスタートさせたとき、AIX の日時設定が狂う問題を修正しました。</li> <li>1 時間に 1 回程度、電源ファンの回転が非常に低速になってしまう問題を修正しました。この問題が発生すると、温度異常により電源ユニットが停止する可能性があります。</li> <li>Live Partition Mobility (LPM)が停止し、パーティションの移動により、移動先サーバの時刻が不正になる問題を修正しました。この問題は、移動先サーバのハイパーバイザの時刻が、移動元サーバの時刻より遅い場合に発生します。</li> <li>HWMC とサービスプロセッサ間の通信にかかわる、複数のセキュリティ脆弱性の問題を修正しました。</li> </ul> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Power VM を使用しているシステムで、専用(dedicated)プロセッサと共有(shared)プロセッサのパーティションが混在し、かつそれらのパーティションが、仮想イーサネットや VIOS ホスティングで Virtual IO 接続があるとき、共有(shared)プロセッサのパーティションがパフォーマンス低下する問題を修正しました。</li> <li>拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源ユニットの</li> </ul>

	<p>交換中に、誤って Voltage Regulator Module (VRM)の障害を報告し、エラーコード 10001511 および 10001521 を記録する問題を修正しました。この問題が発生すると、I/O ドロワの電源ユニットが起動しなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスプロセッサが冗長化されたシステムで、アンカーカードが含まれるノードで AC 電源が喪失していて、かつアンカーカードがシステム内の VPD に見つからなかったとき、IPL が SRC B181C062 で失敗する問題を修正しました。</li> <li>複数のブートパーティションを持つディスクデバイスがあるシステムで、System Management Services (SMS)で 1 つのブートパーティションしか表示しない問題を修正しました。</li> <li>拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/Oドロワ) が接続されているシステムで、IPL 中にコード C7004091 を表示してハイパーバイザがハングアップしたり、I/O ドロワの保守作業中にハングアップしたりする問題を修正しました。</li> <li>メモリミラーリングを使用し、かつミラーリングの最適化ツールを使用している場合、logical memory block (LMB)の内容が再配置中に、メモリの回復不能なエラーが起きると、予測不能な動作をする可能性がある問題を修正しました。</li> </ul>
AM760_078_034	<p>Impact: Availability    Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L2 キャッシュエラーが同一プロセッサで 2 回発生すると、2 回目のエラーを検知してシステムが停止する問題を修正しました。</li> <li>ハイパーバイザのタイムキープサービス中に、システムが停止する可能性がある問題を修正しました。</li> <li>回復可能なエラーにもかかわらず、エラーコード B113E504 を表示してシステムが停止する問題を修正しました。</li> </ul> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/Oドロワ) が接続されているシステムで、ドロワの電源電圧レベルの異常をエラー報告せず、電源の冗長性が失われたことを検知できない問題を修正しました。</li> <li>拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/Oドロワ) が接続されているシステムで、I/O ドロワの電源ユニットの障害が、電源ユニットのマイクロセットや、電源ユニットの交換で回復したにもかかわらず、障害を報告し続ける問題を修正しました。</li> <li>LPM の操作を行っているシステムで、メモリークにより、run time abstraction service (RTAS)が、エラーコード 0c20 でパーティションランタイムの AIX のクラッシュを引き起こす問題を修正しました。</li> <li>クロックが二重化された構成のシステムにおいて、メモリ用のクロックのうち的一方が異常により切り離された後、もう一方のメモリ用クロックを使用して IPL を行った場合に、エラーコード B158CC62 と B181C041 を記録して、起動に失敗する問題を修正しました。</li> </ul>
AM760_068_034	<p>Impact: Availability    Severity: SPE</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9117-MMD および 9179-MHD で CEC ドロワの稼働時追加/修復保守が可能になります。</li> </ul> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SRC B18187DA(NETC_RECV_ER)が記録され、サービスプロセッサダンプが生成される問題を修正しました。</li> <li>SRC 1100xxxx が各パーティションに通知されない問題を修正しました。</li> <li>HWMC のコマンドラインから誤った仮想アダプタ ID を指定して仮想イーサネットアダプタの設定を変更しようとした際に発生する問題を修正しました。</li> <li>アンカーカード (VPD カード) のプライマリデータチップが故障した場合、SRC B7004715 を記録してシステムのブートは停止していましたが、VPD カード内の冗長データチップを使用してシステムのブートを継続できるように改善しました。</li> <li>移動したパーティションを移動先のシステムでリポートしなければならない問題を修正しました。</li> <li>アクティブ済みプロセッサの数を減らすなどの構成変更をすると、ハイパーバイザがパーティションに共有プロセッサを割り当てることができず、性能が低下する問題を修正しました。</li> <li>Utility CoD で誤ったプロセッサ使用量を報告する問題を修正しました。</li> <li>アンカーカードの障害を示す SRC A70047xx が誤って記録される問題を修正しました。この問題は不要なアンカーカードの交換を引き起こします。</li> <li>取り除かれたカードとそれに搭載されている部品が、システムブート後も ASMI(Advanced System Management Interface)のガードメニュー上に表示される問題を修正しました。</li> <li>ファームウェアアップデートが SRC B1818A0F で失敗する問題を修正しました。</li> <li>AIX コマンド "update_flash -s" を実行したとき、パーティションが応答しなくなる問題を修正しました。</li> <li>ファームウェアの稼働時更新中に、新しいレベルのファームウェアからブートしたとき、サービスプロセッサがクラッシュする問題を修正しました。</li> <li>ある特定の温度センサの誤った補正により、システムブート中にサーバのファンが高速で回転し、サー</li> </ul>

	<p>ビスイベント(SRC B130B8AF 温度センサの補正結果は無効である)が発生する問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システムファンの障害を誤検出する問題を修正しました。この問題で SRC 11007610, 11007620, 11007630, 11007640, 11007650 が 1 つ以上採取されます。</li> <li>システムをパワーダウンしたとき、SRC B70069F4 と B130E504 が誤って記録される問題を修正しました。この問題が発生すると 12X アダプタ(RIO)が切り離され、次回起動時にその 12X アダプタ( RIO)を構成できなくなります。</li> </ul> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ターボコアモードとマックスコアモードを切り替えたとき、サポートするパーティション数が半分に減ってしまう問題を修正しました。</li> <li>Active Memory Sharing (AMS)構成のパーティションを LPM 機能で移動中にエラーが発生した場合、エラーのリターンコードの処理を誤ることで引き起こされる問題を修正しました。</li> <li>Dynamic Platform Optimization (DPO)が動作しているシステムで、パーティションの現在の DPO 値を正しく表示しない問題を修正しました。この問題が発生すると、DPO が実際にパフォーマンスを改善しているにもかかわらず、改善していないように見えます。</li> <li>多くのブート可能なデバイスを持つパーティションにおいて、エラーでブートが失敗し、SRC BA21000 が記録される問題を修正しました。</li> <li>Live Partition Mobility (LPM)操作を実行中のシステムで、ターゲットのシステムにパーティションの移動が成功したにもかかわらず SRC 2005 でハングする問題を修正しました。</li> <li>virtual Trusted Platform Module (vTPM)が有効になっているシステムで、パーティションに割り当てているメモリサイズを変更したときエラーが発生する問題を修正しました。</li> <li>virtual Trusted Platform Module (vTPM)が有効になっているシステムで、特定の操作後にパーティションが機能停止する問題を修正しました。この問題が発生するとクライアントパーティションがパワーオフできなくなる可能性があります。</li> <li>サービスプロセッサ上のシリアルポートでモデムを使用しているシステムで、シリアル接続が途切れたときに誤ってサービスプロセッサダンプ(SRC B181EF88)が生成される問題を修正しました。</li> <li>メモリとプロセッサの Capacity on Demand (CoD)をサポートするシステムで、CoD 操作が頻繁に実行された場合に、informational な SRC B7005300 を採取する回数を減らすようにファームウェアを改良しました。</li> <li>サービスプロセッサが冗長構成であるシステムで、サービスプロセッサを交換後、サービスプロセッサのコードの同期に問題が発生した場合、セカンダリサービスプロセッサの状態がエラーログ中で "unknown" で表示される問題を修正しました。</li> <li>virtual Trusted Platform Module (vTPM)が有効なパーティションで、パーティションをハイバネーション(休眠)状態から再開するとき、SRC B200F00F が記録される問題を修正しました。</li> <li>virtual Trusted Platform Module (vTPM)が有効なパーティションで、そのパーティションをサポートするために必要な最小/最大メモリをマネジメントコンソール上に表示するように、ハイパーバイザを改良しました。</li> <li>SRC CA260203 でパーティションがブートに失敗する問題を修正しました。この問題でファームウェアの稼働時更新が失敗する可能性があります。</li> <li>TurboCore プロセッサがあり、かつライセンスが与えられていないプロセッサがあるシステムにおいて、AIX の lparstat コマンドの "Active Physical CPUs in system" の出力が不適切であった問題を修正しました。</li> <li>Active Memory Sharing (AMS)が動作するパーティションがあるシステムで、AMS パーティションの削除または移動と AMS プールメモリのサイズ変更や再配置を合わせて実施した後でシステムがハングする問題を修正しました。</li> <li>I/O ドロアが取り付けられているシステムで、ドロワの System Power Control Network (SPCN)にパッドデータが多発した場合、サービスプロセッサのリセット/リロードが何度も起こる問題を修正しました。</li> </ul> <p>稼働時保守に影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共有プロセッサプールにプロセッサが無い状態にあるシステムで、CEC ドロワの稼働時追加/修復保守操作実行中にハイパーバイザが無応答状態になり、サービスプロセッサがエラーログ(SRC B182953C)を記録し、HWMC がハイパーバイザと通信できなくなる問題を修正しました。</li> </ul>
AM760_051_034	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規リリース</li> </ul>